

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/08/30 ~ 2017/09/01)

1. 勉学の状況

まだ到着してから2日しか経っていないので、授業もまだ始まっていません。到着した日に ETHZ の留学支援課に行き、これからあるオリエンテーションの情報や重要な書類をもらいに行ってきました。留学生へのサポートは厚く口述試験を始めて受ける人へのオリエンテーションなどがあったり、困った時に相談する連絡先などももらいました。秋のセメスターの授業は「Computer Graphics」「Visual Computing」「Human Computer Interaction」という授業と、ドイツ語の授業を受けようと考えています。その授業の様子もこれからの報告書でお伝えできたらいいなと思います。

2. 生活の状況

やはり物価が高いのが印象的です。マックもセットで1200円から1600円ほどだったり、キオスクのコーラが400円でとても高いです。キオスクで買うのは高いので、少しでも安いスーパーで買い物をしています。ものによっては安いものもあり、パスタなどは120円くらいだったり、コスメなどは日本よりも安いものもありました。チューリッヒの公用語はドイツ語です。ほとんどの人が英語を話せるので、意思疎通に苦労はしていませんが、標識などが全部ドイツ語で、たまに読めないものもあるのもっと勉強しなければならないなと思いました。

9月1日に WOKO という会社が提供する寮に入寮しました。私が入った寮は、一人部屋でシャワートイレキッチンが共有です。最初から食器は自分用のものが用意されており、鍋やケトルも共用のものが十分あります。また、自分の部屋には、寝具、机、椅子、本棚と備え付けのクローゼットがありました。日本から ETHZ の留学はほとんどが修士でしたが、いざ入寮してみると学部生の学生もたくさんいたので、安心していきます。1日寮にいと、いろいろな国の人と話ができて、とても楽しいです。昨日は同じ寮の韓国からの友達と一緒に IKEA に日用品を揃えに行きました。電車とバスを乗り継いで往復2時間ほどかけて行きました。スイスについてから3日も経っていないので、私達にとっては冒険でした(笑) この寮に1年間住めると思うと、とてもワクワクします!

スイスのマクドナルドです↓



私が注文したチキンカプレーゼのセットは 14.4 フラン(約 1684 円)でした↓



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/01 ~ 2017/09/30)

1. 勉学の状況

◎オリエンテーション

9月18日にオリエンテーションがありました。午前中にはExchange studentの全体のオリエンテーションがあって、午後には学部ごとのオリエンテーションがありました。単位のことや、緊急時の対処のことなどの説明の他、キャンパスツアーやちょっとしたバーベキューがありました。そこで同じ学科の人とたくさん知り合うことができました。そこで知り合った人と授業についての情報を共有したり、一緒に授業を受けたりしています。そして、9月19日から授業が本格的に始まりました。

◎総合大学と理系大学

今、私が通うスイス連邦工科大学は名前の通り理系の大学なので文系の授業が少ないです。その分、自分の勉強したい専門分野の授業がたくさんあり、自分にぴったりの授業を選ぶことができます。しかし、千葉大学で勉強していた時は、総合大学な為、国際関係の授業や、医療関係の授業などの文系の授業も受けることができました。特に千葉大学で受けた国際コアの授業がとても興味深い内容で、印象に残っています。どちらの大学でも自分にとってプラスな部分があるので、両方の大学で学べる機会を得られて良かったと感じました。

◎授業の雰囲気について

多くの授業が「講義」と「演習」のセットになっています。講義の方は大人数で教授から教わり、演習の方は少人数でTAの人に質問するような形です。演習の方だけではなく、講義の方もみんな積極的に発言しているのが印象的です。また、些細なことでも授業中に質問しています。早く私もこの環境に慣れて、発言できるようにならないと思います。

◎授業の難易度について

最初の2週間は自由に履修登録ができるのでいろいろな授業に出て、検討しています。私は学部生なのですが、「Software Hardware codesign」という修士の授業は自分には難しくすぎて、内容が理解できませんでした。逆に、「Probabilistic Artificial Intelligence」という修士の授業は、人工知能をどのように応用できるかというのを学ぶもので興味深く感じました。また、「Visual Computing」という授業はETHに来る前からとりたかった授業

で、私の学びたいことそのもので、大変満足しています。写真や動画の中の物体をどのようにコンピューターが認識するか、ということ为先週の授業で学びました。そして自分達がソフトを使って実際にやってみる、というものでした。課題では私がまだ使ったことがないソフトを使うので、パートナーや詳しい友達に聞いて学んでいます。

◎ 英語について

リスニングはかなり慣れてきました。最初の一週間は話しかけられて、理解ができないのが怖かったですが、今は大丈夫です。スピーキングがまだまだです。ヨーロッパ圏の人は母国語と英語を同じくらい上手に話しますが、私はまだまだなので、たくさん話して早く慣れたいです。状況を説明したり、何かの使い方を説明したりする時に、言葉がつかえてしまったり、短くしか説明できません。とにかく寮でたくさん練習をしています。帰国までこんな状態だったらどうしようという不安がありますが、とにかく話す機会をできるだけたくさん作って、早く慣れたいです。授業では何とかついていっていますが、知らない専門用語が多く苦労しています。自分がその授業の内容について質問する時にその専門用語を使いながら話すのが、まだ難しく感じます。何回も授業の内容を復習して、自然にその単語や表現が出てくるように頑張ります。その他には日本にいる時から使っていた TOEFL 用の単語帳や、前期に千葉大学で受講した「情報画像英語」の副読本のテキストを使って学んでいます。TOEFL の単語は日常生活ではあまり使わないものが多いですが、本や授業で出てくるので欠かさずやっています。副読本に理系で使う単語がまとめてあり、こまめに見て友達に説明する時に役立っています。

◎ ドイツ語について

チューリッヒの公用語は(スイス)ドイツ語なので、街にたくさんドイツ語が溢れています。日本にいる時からドイツ語を勉強していますが、まだまだです。次のセメスターにドイツ語での講義を受講できたらいいな、と思いますが、難しそうです。引き続き頑張ります。

2. 生活の状況

◎Kitchen Duty について

セメスターが始まるまでは、清掃員の方が来てキッチンを綺麗に掃除をしてくれていたのですが、始まってからは寮が10人くらいのグループに別れて、1グループ1週間のキッチンの掃除をしなければならなくなりました。そして、清掃員の方がその綺麗さを得点につけて、得点をグループで競うゲームのようなものです。優勝のチームには300フラン(3万5千円くらい)が贈呈されます。頑張ります！

◎ドイツ語で買い物

スイスは物価が高いので、ドイツに買い物に行くことがあります。今月だけで2回行きました！特に肉類や卵はスイスの3分の1くらいの値段で買うことができます。また、他のものもスイスよりは安く買うことができます。これからも工夫をしつつ、物価が高いスイスでの生活を楽しまたいと思います。

◎寮生活

同じ寮に住むだいたい人の顔を覚えてきました。夕食の時間には、みんなでごはんを作って、一緒に食べて、食べた後も話をして楽しく過ごしています。授業が大変だったりして、へとへとになって寮に帰ってくる日もありますが、寮の友達と過ごす時間が楽しくて、なんとかやっていけています。いろいろな国の人がいるので、それぞれの文化の違いについて話したり、「今日の授業どうだった？」みたいな会話もします。最初、この寮に決まった時に、寮に1つしかキッチンがないことに少し不安がありましたが、同じキッチンだからこそいろいろな人と知り合えて良かったと思いました。寮でたくさん英語を話すことでこれからもっと英語がうまくなりたいです。週末は寮の友達とよく遊びに行きます。ドイツに買い物に行ったり、スイス内を電車で出かけたりします。寮には、ETHの生徒だけではなく、チューリッヒ大学の生徒や、芸術系の大学の生徒もいて、自分の専攻じゃない分野の話も聞くことができます。大学では授業によって友達がいたりいなかったりするので、とにかく寮で過ごす時間がとても楽しいです。

寮の友達で行ったベルンの教会です↓



ベルンの景色は本当に絵葉書みたいに美しかったです↓



ストリートフードフェスティバルに行きました！いろいろな国の料理が集まっていて、楽しかったです！



美味しかったです！



大学のメインビルディングからの景色です。どんな天気でも綺麗です。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01 ~ 2017/10/31)

1. 勉学の状況

◎授業について

授業には最初よりはだんだん慣れてきました。やはり数学や情報学で使われる英単語を知らないものが多くて出てきたものから少しずつ覚えていっています。何も見ずに英語で自分が説明できるようになることを目標に復習しています。プレゼンの練習にもなると思うのですが、とにかく時間がかかるので全部の授業についてできているわけではありません。周りが英語が母国語でなくても当たり前英語で専門用語を使い話しているのを見ると自分も早く追いつかなくてはならないなと焦ります。

今のところ余裕を持って5つ授業をとっていますが、全て履修するかはまだわかりません。

(学期末まで履修解除ができます)

「Human Computer Interaction」という授業が難しい数式や専門用語も割と少なく楽しく受けています。”どのようにしたら人が使いやすいデザインにすることができるか”ということを中心に学んでいます。例えば、”飛行機のチケットの予約サイトをより使いやすくするにはどのような実験をすべきか?”という議題に対して「ユーザーの予約にかかる時間の平均をだす」「予約ボタンのミスタッチを計測する」「ユーザーがこのサイトを利用してどのように感じたかアンケートをとる」など様々な意見が出て興味ぶかく感じました。

経済学の授業も受けているのですが、高校ぶりの経済学で演習などは苦勞しています。そのかわり英語の難しい単語はたくさんは出てこないのになんとかついていけています。

「Visual Computing」は週に4時間講義があり、一番ヘビーな科目です。専門用語も多いですが、興味ぶかい内容ばかりです。先週は動画の中で一つの目的の物体を追跡することについてだったり(主にオプティカルフロー)、先々週は画像の中の対象の認識についてでした。実習もMATLABを使ったことがなかったので私にとっては難しくついて行くのに大変です。頑張ります。

◎英語について

9月よりはだいぶ話せるようになったと思います。9月の月間報告書で「状況を長く説明したり、何かの使い方が長く説明できない」と書きましたが、それはだいぶできるようになりました。友達と話して練習したのもありますが、一人で「この映画の要約は？」とか「この日本の文化の説明は？」などと自問自答して部屋で練習したりしました。しかし、英語で2人で話すときに向こうが60%から70%くらい話して自分はまだまだ話せていないのが現状です。説明して！と言われれば説明できるけど、まだ会話でポンポン英語がでてきませ

ん。11月以降は会話をしている同じくらいの量を話せるようになることを目標にしたいです。

2. 生活の状況

寮にベッドバグという繊維質のものに住む虫が発生しました。被害があったのは2件だったらしいのですが、その後に検査があり70部屋にベッドバグが発生していると警告が出ました。私の部屋も該当したので、1週間ほど駆除の為に寮を出なければならなくなりました。部屋全体を熱で温めて駆除するそうです。寮から出る際と、帰る際には持って行く荷物を大きい冷凍庫で冷凍してベッドバグを持ち出さないように、持ち込まないように、という徹底ぶりでした。こんな経験をしたことがなかったので正直びっくりしています。

10月は特に旅行なども行かずに寮で友達と話して過ごしたり、映画を見たり、勉強したりという感じでした。先月も書いたように寮はダイニングとキッチンが全体で1カ所なのでたくさん友達ができて本当に楽しいです。寮の友人とこの前キムチチゲを作って食べました。友人の一人は豆腐を初めて食べる！といていたのですが、とても気に入ってくれたようでとても嬉しかったです。

10月の1週目に熱を出して日本に帰りたくてたまらなくなりました。(笑)友人が助けてくれたのでなんとか乗り切ることができました。

↓友人が炊飯器をスイスに持ってきていました！



↓友達としたチゲパーティーです！この後「君の名は」を字幕で見ました！



↓大学に行くときに使う POLY BAHN です



↓チューリッヒはやっぱり綺麗です！



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01 ~ 2017/11/30)

1. 勉学の状況

秋のセメスターの授業も折返しに入り、自分の生活リズムを掴めてきました。9月から10月ごろは授業で使われる数学の用語や情報関係の用語や、知らない動詞が出てくるたびに調べたりして、授業の内容を掴むのに時間がかかっていましたが、何回も調べているうちに段々と覚えてきて当初よりは楽になってきました。

また、数学の用語を覚える時は復習も兼ねて、英語での教科書を買いました。とても高く全部で5万円ほどしましたが、とても役立っています。(例えば「Visual Computing」では画像に関することを学ぶので、フーリエ変換や線形代数などが出て来ます。)

私が学んだことがないプログラミング言語で課題が出たりついていくのが大変なときもありますが、学んでいる内容がとても興味深い内容ばかりで、本当に満足しています。「Visual Computing」はComputer Visionの分野からComputer Graphicsの分野に切り替わり、実践的なCGにおけるシェーディングや表面の材質の表現などを勉強しています。

「Probabilistic Artificial Intelligence」では先週はマルコフ連鎖という、未来の挙動が現在の状態だけで決定されるという系列について勉強しました。この授業が今私にとって一番難しいのですが、この授業は大学で録画されており、復習がしやすいです。「Human Computer Interaction」ではMyoという腕の筋肉の動きを感知するアームバンドを使ってコンピュータやスマートフォンを操作するというテーマを勉強しました。実際にデモを授業中に見せてくれましたが、先生が手を少し動かすだけで簡単に操作ができて、興味深かったです。

家で復習していて、わからないことがあっても寮にたくさんETHのコンピューターサイエンスの学生がいて、いつでも質問できたり、このソフトを使うといい、などの情報も聞くことができ、この環境に満足しています。

2. 生活の状況

ロビーかキッチンに行けば誰か友達がいるので本当に楽しく寮生活を過ごしています。11月から12月にかけて、ミュージカルのウィキッドの公演がチューリッヒであったので、学校帰りに見に行ってきた。大好きな曲が生で聞けて、本当に素晴らしかったです。最後は観客全員がスタンディングオベーションで終わりました。



11月の3週目くらいに、キッチンのオープンから煙が出て寮全体の火災報知器が鳴り、消防車も来て本当にびっくりしました。私は部屋にいたのですが、すぐに外に行きましたが何事もなくよかったです。

11月の最後の週に両親と叔母が遊びに来ました。久しぶりに家族に会うことができ、良い息抜きになりました。チューリッヒはすっかりクリスマス一色になって、クリスマスマーケットも開かれています。



ホットワインを飲みました！



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2017/12/01 ~ 2017/12/31)

1. 勉学の状況

期末試験まで1ヶ月ほどとなり、12月はほとんど大学寮で授業の復習や課題をやって過ごしました。ETHでの初めての試験に向けての勉強をするのにあたって、まずこれまで千葉大学で学んだ内容をかなり復習しました。日本から授業で使用した教科書を持参していたので、デジタル信号処理、フーリエ変換、など試験に関わる範囲を中心に勉強し直しました。また、数学はこちらで購入した英語の本で復習し直しました。正直初めての試験がとても不安ですが、頑張りたいと思います。

また、今受講している授業を振り返るにつれ、次のセメスターに受講したいコースがたくさん出てきました。今、「Probabilistic Artificial Intelligence」という授業を受講しているのですが、この授業を受講した前提で進む「Introduction of Machine Learning」という授業があります。どのようにデータから学び、予測するのか、その基本的なアルゴリズムを学ぶ内容です。今学んでいる分野と深く繋がっていて、興味深く思います。また、これまでセキュリティの分野をあまり学んだことがないので、「Information Security」という授業をとりたいと考えています。セキュリティの基本のコンセプトや、どのようにシステムに搭載していくのか、というのを学ぶ授業です。今学期は自分が授業についていけないのが怖くてETHが留学生に勧める単位数以上とらなかったのですが、来学期は自分がとりただけ受講しようと思います。千葉大学でしか学べないこともたくさんありますが、ETHにいる間はここで吸収できるものは全て得るような気持ちで頑張りたいと思います。

◎英語について

英語のアクセントが強い人と話す時に、英語がとても聞き取りにくく感じ、もっとリスニング強化しなければならないことを痛感させられました。時には5割くらいわからないまま会話が終わってしまうこともあり、悔しい思いをしました(笑)今までと変わりませんが、英語の映画や動画を英語の字幕で見たり、字幕なしで見たりしています。また、友達が使ったり、映画で出てきた表現で知らないものがあればiphoneでメモをとって、暇な時に見返しています。

2. 生活の状況

寮にいる学生の一部は、期末試験も終わり、帰国する学生もちらほらいます。この前寮に入寮したばかりだと思ったのに、時が流れるのを早く感じます。仲が良い友人が手紙を書いてくれたり、帰国してからもたくさんテレビ電話で話したりして連絡を取れているのを

嬉しく思います。しかしこれまでずっと同じ寮で生活してきたのに、みんなバラバラになっ
てしまって少し寂しいです。



チューリッヒではたくさん雪が降って、千葉出身にはとても新鮮です。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/01 ～ 2018/01/31)

1. 勉学の状況

期末試験がやっと始まりました。コンピューターサイエンス学部の試験は他の学部よりも割と試験が始めるのが遅く、友人の多くは試験がすでに終わっています。1月の最後に「Human Computer Interaction」「Probabilistic Artificial Intelligence」の試験がありました。2月のはじめに「Visual Computing」「Introduction to Neuroinformatics」の試験が控えています。一つの試験は2時間から3時間のものがほとんどです。試験の時間が長いので飲み物や軽食の持ち込みが許可されていて、新鮮でした。「Human Computer Interaction」の試験は、どのようなウェブデザインが人の記憶に残りやすいか、どのようにユーザーからの評価を取るか、プロトタイプはどのように作るか、Human Computer Interactionのプロセスなどについてでした。試験については統計の問題が少しとあとは暗記科目という感じでした。英語で大量の用語や定義、プロセスの説明や条件などを覚えるのに苦労しました。試験にパスできたかどうか正直自信はありません...

「Probabilistic Artificial Intelligence」の試験は隠れマルコフモデルや、ベイジアンネットワーク、マルコフ決定過程、Qラーニングなどの強化学習、などの計算問題が中心でした。これは修士の授業なのですが今学期で一番興味深い授業で、次の学期もこの授業に関連した授業を受講しようと考えています。この授業については比較的勉強したので試験前は緊張して手が震えました(笑)

どの試験も難易度は高く、良い経験でもありETHのレベルの高さを思い知らされます。時には友人と教えあったりしてなんとか試験の準備をしています。

2. 生活の状況

半年で帰る留学生はほとんど退寮して、今は寮全体が静かです。少し前まではお別れパーティーをロビーで毎晩のようにうるさくやっていたけどまだ試験が残っている方としては少し迷惑でした(笑)これまで仲良くしていた友人はほとんど寮を出て行ってしまい、寂しく感じます。2月の中旬まで試験期間ですが、試験が終わったら数日ですぐに次のセメスターが始まります。1セメスター目がもうすぐ終わりますが、本当に充実した経験ができたと思います。留学がスタートするときに英語上達のために「絶対に日本人とつるまない」という風に心に決めてのぞみ、たくさんの仲が良い友人ができ、英語も上達しました。最初は英語の専門用語も一つ一つ大変でしたが徐々に覚えて、充実した授業をうけ、興味がある分野をいくつか見つけました。一緒にいる友人の影響もあり、世界の政治のニュースに目を

向けたり、社会問題についてのディベートの動画を見るようになりました。次の Semester はもっと自分の興味がある人工知能についての授業を受け知識を身につけたいです。ドイツ語も勉強しようと思っていたのですが、途中で怠けてしまい、あまりできていません…。チューリッヒで英語だけでも不自由なく暮らせてしまい、勉強しなくなりました。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/01 ～2018/02/28)

1. 勉学の状況

2月の最初の週まで期末試験があり、10日ほど休みがあり、すぐに新しいセメスターが始まりました。休みの間は線形代数学の復習や、統計の復習をして過ごしました。

今学期は「Introduction to Machine Learning」、「Big Data」、「Computational Statistic」、「Software Design」という授業4つを受講することに決めました。Machine LearningとComputational Statistic(以下CS)の授業は同じテーマを扱うことが多く、一つのテーマを深く理解することができます。最初の2週間はLinear Regressionについてを学習しました。私はまだ千葉大学でデータベースの授業をとっていないので、BigDataの講義についていくのに、自分でさらに基礎知識を勉強しなければいけないのが大変です。

授業の内容がかなり多いので、課題をしたり、予復習、プログラミングの問題を解いたりと毎日勉強でとても忙しく過ごしています。

TOEFLも4月に新しくとろうと思っています。

2. 生活の状況

2月1日から寮にたくさんの人が入ってきて、環境がガラリと変わりました。チューリッヒは-11℃を記録しとても寒いです。体調を崩さないように気をつけたいと思います。

↓チューリッヒ中央駅の前の噴水が凍っていました。

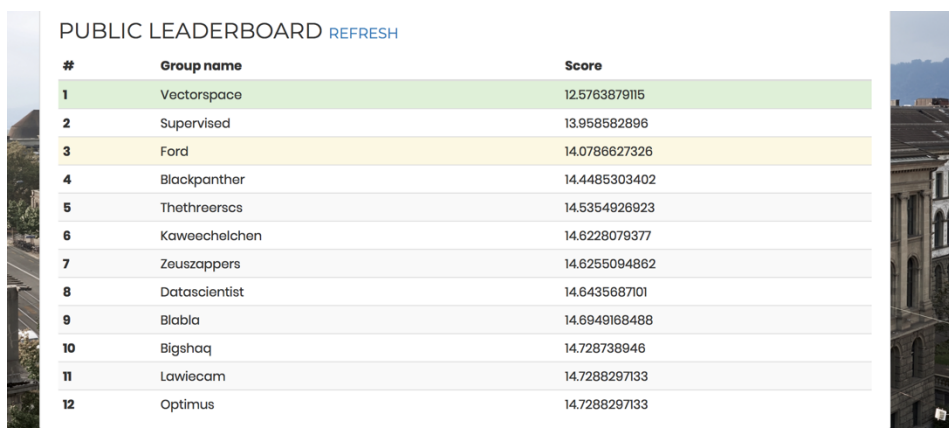


海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/03/01 ~ 2018/03/31)

1. 勉学の状況

受講している Machine Learning の授業のプロジェクトが始まりました。3人で1組のグループで合計 5 つのタスクを解きます。1 つ目のタスクは「cross validation を Ridge Regression に使って、与えられたデータセットから値を学習して、いくつかの alpha に置いて予測する」というものと、2 つ目のタスクは「Linear Model を使って、実際の値と、学習した後予測した値の誤差が少なくなるような model の選択とパラメーターの選択をする」というようなものでした。与えられた時間は 2 週間ほどで、たくさんミーティングをしたり、コードを共有したりとしました。ほかのコースもあるのにも関わらず、かなりの時間を費やし、かなり疲れました。しかし、全体の 260 グループ中、私たちのグループは 3 位のスコアを取得しました！！



#	Group name	Score
1	Vectorspace	12.5763879115
2	Supervised	13.958582896
3	Ford	14.0786627326
4	Blackpanther	14.4485303402
5	Thethreeerscs	14.5354926923
6	Kaweichelchen	14.6228079377
7	Zeuszappers	14.6255094862
8	Datascientist	14.6435687101
9	Blabla	14.6949168488
10	Bigshaq	14.728738946
11	Lawiecam	14.7288297133
12	Optimus	14.7288297133

一緒に受講している「Computational Statistics」は Machine Learning のテーマとほとんど同じで、より数学的な視点の授業です。Machine Learning よりは進みは遅くてちょうど良い復習になっています。Software Design は、ソフトウェアをどのように設計したら効率よくその後機能を付け足せるかどうか、ということ学びます。前回の宿題は、RGB 値を自分で設定して自由に色を表示させるソフトを作る課題で、かなりの時間を費やしても解くことができませんでした。翌週、Observer Design というテーマを学習し、やっと解くことができました。

2. 生活の状況

あまりに毎日の課題が大変で毎日学校に 10 時までいて課題を終わらせようと頑張っています。しかし、寮に帰ってきたら友達と話したりして楽しんでいます。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/01 ～2018/04/30)

1. 勉学の状況

引き続き、機械学習のプロジェクトをやったり、授業の予復習に追われています。やっと機械学習の授業にてニューラルネットワークやディープラーニングを習い、学んでみた買ったことが学べてとても満足しています。Computational Statistics や機械学習のおかげでデータ分析に持ち始めたので、今度オンラインのそれに関連したコンテストに参加してみようと考えています。

先日8月に行われる期末試験の日程が出ました。私の予定では8月1ヶ月まるまる試験期間という感じでした。試験自体は4つほどなのですが、一つひとつの授業が重いので大変です。

日本と夏休みの期間がずれていて、5月末には全ての授業が終わるので試験勉強をしながらインターンシップをしようと考えています。最近エントリーシートを書いたり、履歴書を英語版と日本語版で書いたりと忙しくしています。ETHZ で人工知能や機械学習を中心に学んできたので、それが活かせるようなインターンシップを探しています。

ETHに来なかったら多分人工知能に興味を持つことはなかったかもしれないので、本当に留学にきてよかったと思います。

2. 生活の状況

普段は大学にあるカフェで勉強しています。ケーキやパン、コーヒーなどがありとても満足しています。朝は6時45分から夜の8時まで開いていて、とても便利です。



チューリッヒでは今月、一年で一番大きいお祭り「Sechseläuten」が開かれました。春の訪れを祝い、雪だるまの人形を燃やすものです。実際に見に行ったのですが、あまりの人で良い写真が取れませんでした。雪だるまを燃やす前はヨーロッパの伝統的な衣装を着た人たちが馬車に乗ってパレードが行われました。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/05/01 ~ 2018/05/31)

1. 勉学の状況

授業が6月1日で終わり、日本より少し早い夏休みとなりました。プロジェクトワークが全て終わり、ほっとしています。また、この一ヶ月は、授業を受けながら、インターンシップのskype面接三昧でした。ETHで一年間、人工知能や機械学習に関する授業を受け、興味を持ち始めたので、それに関するインターンを探していました。無事、いくつかの企業から採用をいただき、9月から機械学習エンジニアとしてのインターンをすることになりました。事業内容は、機械学習を医療分野に応用することが主な内容です。これまで座学で学んできたことを、実際の事業で活かせることが本当に楽しみです。また、Kaggleという、データサイエンティストのためのコンテストのウェブサイトがあるのですが、そちらでいくつかコンテストを受けました。今まで取り組んでいたのは、「ヘイトスピーチのツイートの認識」「既存データからの売上の予測」「手書数字の認識」「画像からの年齢予測」などです。ETHで留学したおかげで、自分の好きな専門分野ができて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この分野を、将来的に自分の強みにできたらいいなと思っています。8月には重い期末テストがあるのですが、それまで試験対策をしっかりしたり、インターンの準備をしたりと、授業がなくても身のある時間を過ごしたいと思います。

2. 生活の状況

学期終わりになり、退寮して自分の国に帰る友達がたくさんいて、とても寂しいです。残りの留学生活を楽しみたいと思います。



←6月頭のチューリッヒです

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/06/01 ~ 2018/06/30)

セメスターも終わり、インターン面接も落ち着き、試験勉強だったり趣味のプログラミングをしたりと単調な日々だったので、6月と7月の月間報告書はETHに留学する際に役立つことを生活の状況と混ぜながら含めてお話ししたいと思います。私が留学する際にETHの留學生活の情報が少なく、困ることがあったのでそのときに知りたかったことなどを中心に書きたいと思います。

1. 物価について

物価は基本的に2倍から3倍位高いです。稀にパスタやチョコなどは日本より安いですが、それ以外は日本より高いです。また、日本食をアジア系スーパーで買うと4倍以上の値段で売られていたりします。(物によりますが、150円のインスタントラーメンが700円など)。基本的に食費を抑えるのに外食はほとんどせず、大学の食堂で食べるか自炊という感じでした。奨学金が本当に助かりました。

2. 定期について

私は1年通しての110番エリア(寮と大学を含めたエリア)の定期、スイス国内の切符が半額になる切符、スイス国内の運賃が午後7時以降無料になる切符などを含めて合計3つ買いました。全部で10万円ほどしたと思います。友人の中にはその切符を使って完全に元をとったという人がたくさんいましたが、私はあまりに旅行に行かなかったのであまり元を取れてないと思います。3つ目に紹介した「スイス国内の運賃が午後7時以降無料になる切符(Gleis sieben)」を使ってよくドイツに食料の買い出しに行っていました。

3. 試験について

ETHの試験は科目にもよりますが、どれもかなりレベルが高く、しっかりと準備をする必要があると思います。ETHの中の1人の教授が言っていたのですが、「ETHの試験は1つが3時間など長い。でも学生がしっかりと問題と向き合ってじっくり考え、100%の力が出せるようにするためだ」と言っていました。その試験範囲をしっかりと理解していないと解けないような具体例を出したような問題や、長い公式の導出の問題などが出されました。毎週の授業にきちんとついていければ問題ないと思います。

4. 寮生活について

私の寮は5階建て、1人1つ個別の部屋が与えられ、トイレ・シャワーはフロアに2箇所ずつありました。キッチンは一箇所に大きいキッチンがあり、160人で一つのものを使います。キッチンの掃除は10人前後の班に別れて1週間ごとに当番が分かります。友人の寮は1つのフラットに4人から6人ずつ分かれてシャワー・トイレ・キッチン全て共有というところが多かったと思います。WOKOからの寮では無かったのですが、朝食がついている寮もありました。私の寮は、チューリッヒ大学とETHの学生、Googleのインターンの学生のいずれかがほとんどでした。共有のリビングスペースでは毎週金曜日はパーティーが開かれていました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/07/01 ~ 2018/07/31)

今月もは ETH に留学する際に役立つことを生活の状況と混ぜながら含めてお話ししたいと思います。

1. 英語について

〈留学中〉

最初のうちは授業の内容が難しい上に英語の専門用語がわからずに授業中に調べたりと大変でした。授業のわからない内容を全て英語で調べたり、英語の専門書を買って、それを読みあさったり、自分なりに工夫しました。秋学期の最初の方は自分で授業の内容を復習するために自分に英語で授業の内容を声に出して説明したりしました。

日常会話では、わからない単語が出てくるたびにスマホのメモ機能にメモして暇なときに見たり、英語に慣れるまではできるだけ日本人とつるまないようにしていました。友達と話さない時は部屋にこもって洋画やアメリカのニュース番組を見たりして、リスニングを鍛えました。スピーキングは、その日にあったことをブツブツ英語で一人で話したりしました。半年くらいしたら、本当に楽に英語を話せるようになりました。友達とディベートをしたり、プロジェクトのミーティングで発言したりするのも、いつの間にか春学期にはできるようになっていました。

〈留学前〉

留学をしたことがなく、英語は得意科目でしたがスピーキングに慣れていなかったため、出発する年の春休みの間、2ヶ月だけマンツーマンの英会話の教室に通いました。中高でずっと英語を勉強してきたのにもかかわらず、最初のレベル診断ではビギナーレベルで凹みましたが、そのレベルで丁度よかったと今では思います。また、家で初めて洋ドラマを見たり、TED をみってから音読をしたりしました。リスニングはいくらでも自分で学習できるので、留学前から洋画や洋ドラマ、PodCast、TEDなどをたくさんきくと良いと思います。

2. ドイツ語について

現地でドイツ語が話されているのは知っていたので、第二外国語をドイツ語にし、留学前の秋にドイツ語検定3級を取りました。検定の対策に学習者向けのドイツ語のドラマのようなものを見たりしていましたが、最終的に英語が最優先になってしまいました。

寮では公用語は英語ですし、大学の講義も英語でしたので、あまりドイツ語には触れませんでした。自分でドイツ語も習得したければ、チューリッヒ大学のドイツ語の講座をとったり、学部向けのコースなら ETH でドイツ語のコースはあります。ただ私は英語で手一杯でした。

3. 専門分野について

ETH での留学生活では、専門分野を学ぶ環境が本当に整っていました。モチベーションが高い友人がたくさんいて、優秀な質問が飛び交う授業を受け、ハードな課題に取り組みました。これから留学する方も、留学する際に、自分が学びたい範囲に対してどれだけその大学が適しているのか、ということをお大学選びの際の一つにすると良いかなと個人的に思います。

4. 現地の生活について

冬は日本より寒かったですが、大学や寮は常に暖かく快適でした。治安は比較的良いです。ほとんど毎日でしたが、寮で友人と一緒にご飯を作って食べたり、夜中まで話したり、パーティーをしたりするのが本当に楽しかったです。仲の良い友人がたくさんでき、私が一時帰国中に留学中にできた友人が 2 人日本に遊びに来たり、私もスイスから日本に帰国する際に友人の住んでいる国に寄って帰る予定です。

5. 情報收拾について

国によって在留許可書の申請の際に必要な書類や手順が違ったりするので、そういった情報は日本人の友達と連絡を取るのが良いと思います。留学課を通して私に聞いてもらっても構わないです。